

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受 理 番 号	学 校	教 科	種 目	学 年
105-3	中学校	社会	社会（地理的分野）	第1・2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		

1 編修の基本方針

今と向き合い、
持続可能な社会の実現に向けて
「これからの社会を生き抜く力」を育む。



基本方針

1

学習の流れを可視化し、
課題を解決する力を育てる

- 1時間の「学習の流れ」を分かりやすくデザイン
- 「単元の構成」で課題解決的な学習のプロセスを可視化



基本方針

2

自らの考えを整理し、
表現する方法を身に付ける

- 評価の観点に対応した学習のまとめ
- 対話を促し、深い学びを実現する
- 現代的な諸課題を自分ごととしてとらえる



基本方針

3

世界が広がるQRコンテンツで
学びをアップデートする

- 学校でも、家庭でも、学びを支えるQRコンテンツ





1時間の「学習の流れ」を分かりやすくデザイン

学習課題、本文、資料、チェック&トライ等、紙面の要素を定位置に配置しました。

学習の流れが見えることで、全ての生徒にとって学習に取り組みやすい紙面にしました。

学習の流れ

① 導入資料

本時の導入に使える
魅力的な資料

② 学習課題

生徒の「なぜ」を
引き出す学習課題

③ 本文

読んで理解できる
本文

④ チェック&トライ

1時間の学習を
ふり返る2つの問い

活動コーナー
身に付けた技能
を活用する活動

サブタイトル
関心を高め、
学習課題につな
げる

二次元コード
学習課題の横に
配置 → 詳しくは
p.4参照

インデックス
学習内容を
いつでも確認

見方・考え方
の視点例
思考を深める
学習の手がかり

122

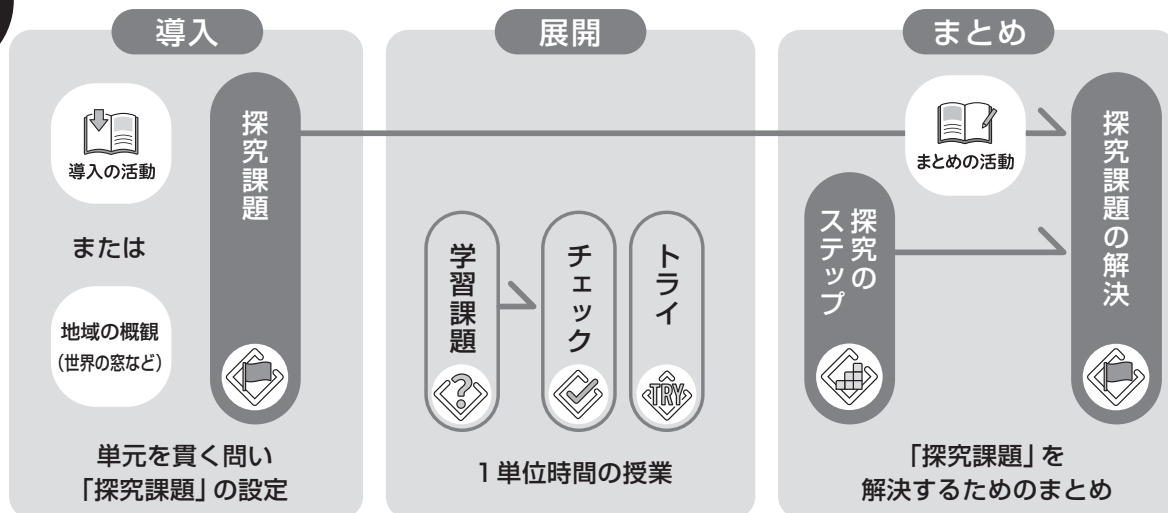
123

112-113 ページ

「単元の構成」で課題解決的な学習のプロセスを可視化

単元を貫く「探究課題」を立て、それを解決するために必要な学習プロセスを配置したことで、無理なく課題解決的な学習に取り組むことができます。

単元の構成





評価の観点に対応した学習のまとめ

単元末のまとめを「知識・技能（知識）」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点で整理しました。

確かめよう 知識

地図の読み取りをふまえて、単元でおさえておきたい「知識」の確認をコンパクトに行えます。

探究のステップでふり返ろう

主体的に学習に取り組む態度

「探究のステップ」では、単元の学習をふり返り、学習の整理に取り組めます。取り組みを通して、生徒の「主体的に学習に取り組む態度」を見取ることができます。

「見方・考え方」を働かせて探究課題に答えよう（思考・判断・表現）
思考ツール等を用い、学習をまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を見取することができます。

▲126-127ページ

対話を促し、深い学びを実現する

対話を通して深い学びを実現するための活動例を、導入や本文、まとめのページに配置しました。

小集団での参加型学習「みんなでチャレンジ」を活用することで、本文での学習内容の理解を確実にし、話し合いなどの対話的な活動を促すことができます。多様な意見に触れながら学習を深め、自分の考えを調整したり、まとめたりすることで、多面的・多角的に考察したり、公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養います。

現代的な諸課題を自分ごととしてとらえる

現代的な諸課題を五つのテーマでとらえ、持続可能な社会の形成を常に意識できるようにしました。

持続可能な社会の形成を常に意識できるように、現代的な諸課題を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つの視点でとらえ、3年間の社会科学学習を貫くテーマとしました。様々な課題や克服のための取り組みを扱い、課題解決のための意識と態度を育てます。

みんなでチャレンジ

- グループ活動** グループになって、アジア州以外の五つの州で分担を決めましょう。
- 個人活動** 分担した州について、教科書をふり返って、その州の地球的課題を表した資料を1点見つけましょう。また、SDGsの17ある目標（ゴール）のうち、何番とかかわっているか、考えましょう。
- グループ活動** 再びグループになって、(2)で選んだ資料とSDGsのゴールを基に、どのような地球的課題で、なぜそのSDGsのゴールを選んだのか、説明しましょう。

▼143ページ

▼巻頭 3-1 ページ

単元の
学習の
流れ

学校でも、家庭でも、学びを支えるQRコンテンツ

小学校の学びを活かし、中学校の学びをスタート

導入

第2編 世界のさまざまな地域

第1章 人々の生活と環境

スキル・アップ 写真の読み取り方

目録の索引にある家



導入の活動を通して
感じた疑問や気付いた点
を整理しましょう。

(1) 1枚の写真から読み取る
左の目の写真を、次のポイントに
注目して見てみましょう。

・周囲にある動物の様子
・服装や食べ物の様子
・家畜などの生活に関する動物

写真と目の周囲は
どのような材料で
作られているのかな。

▲34 ページ



▲35 ページ



単元の学習をイメージしやすいコンテンツ

【導入クリップ】

各単元導入では、小学校の学習内容をふり
返るなど、単元の学習をイメージしやすい
コンテンツを用意しました。

活用場面

授業冒頭のレディネスチェックとして、予習
のための課題として、活用することができ
ます。

展開

多様なQRコンテンツが毎日の学習をサポート

学習内容の確認



チェック サモアの伝統的な暮らしの知恵を、本文から
ぬき出しましょう。



トライ サモアの人々の生活の変化について、衣食住の
うちの一つに着目して説明しましょう。

【チェック&トライ】

毎時間の学習内容をもとに
取り組むコンテンツ

活用場面

1時間の授業のまとめとして、
学習内容のふり返しとして
活用できます。

豊富な映像資料

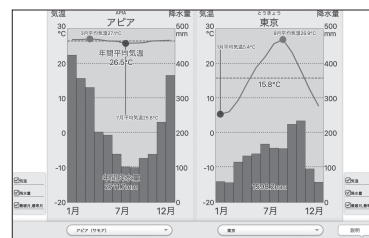
【なるほど！スキル・アップ】
【D-Move】

スキル・アップの解説動画や
NHK for School動画など

活用場面

地理学習に必要なスキルや学習内
容の確認、関連する内容の理解に
活用できます。

活動ツール



【シミュレーション】

雨温図を比べるなどの操作を
通して理解を促すコンテンツ

活用場面

授業での確認や、家庭学習での
ふり返しに活用できます。

学習を整理し、学びを深めるヒント

学習のふり返し

探究の
ステップ

この章では、世界各地の人々の暮らしについて、
「人と自然のかかわり」や「場所」に注目して
学習してきました。

● 36～53ページの中から、次の内容を表わす資料を挙げましょう。

① 自然環境とのかかわりを最も感じた、伝統的な衣食住に関する資料

② 宗教とのかかわりを最も感じた資料

▲54 ページ

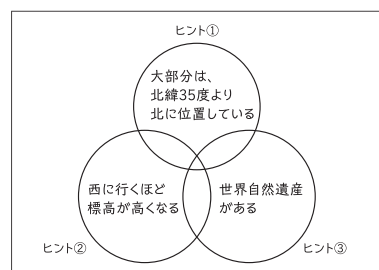
【探究のステップでふり返ろう】

学習内容をふり返って探究課題の解決につなげる
ワークシート

活用場面

授業支援ツールを使った協働的な学習にも展開
できます。

思考の整理



▲33 ページ

【思考ツール】

ベン図、表（マトリックス）などの思考ツール

活用場面

学習のまとめのツールとして、日常における思
考の整理のヒントとして活用できます。

まとめ

図書の構成	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭・巻末	<ul style="list-style-type: none"> ●世界各地の食事や主な家畜、鉱産資源、農産物を取り上げ、生命を尊び自然を大切にする心や、環境保全に寄与する態度、伝統と文化を大切にする心を養えます（第4号・第5号）。 ●巻頭で、現代的な諸課題として全編を貫く五つのテーマ（「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」）に関する題材を取り上げ、伝統と文化を尊重し、人権の尊重や環境の保全、国際社会の平和と発展を目指すことの重要性を意識しながら、主体的に社会に参画する態度を養えます（第3号・第4号・第5号）。 	巻頭1-巻頭2、 巻末1-巻末2ページ 巻頭3-1ページ
第1編第1章 世界の姿	<ul style="list-style-type: none"> ●地球儀や地図帳、統計資料の活用の仕方を学習する「スキル・アップ」を設け、身に付けた技能を確認する活動を設定することで、地理学習の基盤となる地理的技能を確実に習得できます（第1号）。 ●主な国々の名称と位置を学習するページでは、世界の各国を人口、面積、国境などの多様な視点から取り上げることで、世界の姿を多面的・多角的にとらえながら学習を深められます（第1号）。 ●世界の国の学習で23か国の国旗（日本を除く）を取り上げ、信仰する宗教との関係などの国旗の由来に触れることで、他国を尊重する態度を養えます（第5号）。 	15、17、19ページなど 12-15ページ 13ページ
第1編第2章 日本の姿	<ul style="list-style-type: none"> ●グローバル化した生活の中で理解が必要な時差について、調べ方を学ぶ「スキル・アップ」を設け、特に生徒がつまづきやすい部分の図解や説明を充実させることで、時差の概念を確実に習得できます（第1号）。 ●我が国が抱える領土をめぐる問題について、その地理的な背景を丁寧に解説することで、問題を正しく理解し、国際平和のために解決すべき課題であることを意識できます（第5号）。 	25ページ 26-29ページ
第2編第1章 人々の生活と環境	<ul style="list-style-type: none"> ●写真や雨温図の読み取り方を学習する「スキル・アップ」を設け、地域の特色をとらえる学習を追究する上で必要な技能を、地理的分野の学習の早い段階で身に付け、第2章の地誌学習に生かすことができます（第1号）。 ●六つの事例地域の雨温図には東京の雨温図を並べて掲載し、日本と比較しながら事例地域の気候を理解できます。加えて、QRコンテンツでは国内外の任意の地点を選択して比較ができ、より身近な地域との比較により理解を深めることができます（第1号）。 ●異なる自然環境で暮らす人々や様々な宗教を取り上げ、工夫しながら環境に適応して生活する人々や多様な文化への理解や敬意を深められ、異文化への理解を促し、尊重する態度を養えます（第3号・第5号）。 	34、37ページ 37、39、41ページなど 37、52-53ページなど
第2編第2章 世界の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> ●導入の活動で、地球環境問題などの現代的な諸課題に着目させるヒントとして、持続可能な開発目標（SDGs）を取り上げ、世界の諸地域の学習の前に諸課題を解決するための意識や態度を養えます（第1号・第4号）。 ●世界の各州の冒頭に「〇〇の国からこんにちは!」のコーナーを設け、25か国の言葉と国旗を取り上げることで、異文化への関心を高め、他国を尊重する態度を養えます（第5号）。 ●世界の各州に、特設ページ「もっと知りたい!」を設け、異文化への理解や、環境保全の意識などを高めたりすることができます（第4号・第5号）。 ●世界の各州に、特設ページ「資料から発見!」を設け、地図や写真、グラフなどの複数の資料の比較や関連付けを通じて、資料の読解や活用をさらに高め、地域の特色をとらえるための思考力・判断力・表現力などを身に付けられます（第1号）。 	58-59ページ 60、78、92ページなど 77、141ページなど 76、128ページなど
第3編第1章 地域調査の手法	<ul style="list-style-type: none"> ●調べ学習に必要な技能を身に付ける「スキル・アップ」を設け、探究的な学習を主体的に進められます（第1号・第2号）。 ●聞き取り調査などで訪問する相手へ調査をお願いする際の手紙の例などを丁寧に示し、主体的に社会に関わる意識や態度を養えます（第1号・第2号）。 	145-155ページ 153ページ
第3編第2章 日本の地域的特色	<ul style="list-style-type: none"> ●地震や津波発生の仕組み、気象災害、防災・減災の取り組みと課題を取り上げ、防災や安全についての意識を高めるとともに、他分野や他教科（理科）と関連させながら、東日本大震災以降の社会づくりに主体的に参画する態度を養えます（第3号）。 ●様々な発電方法の特徴や課題を取り上げる「もっと知りたい!」を設け、環境問題などと関連付けながら、日本の電力の在り方について主体的に考えられます（第3号・第4号）。 	164-169ページ 182ページ
第3編第3章 日本の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> ●各地方の学習の初めに地域を概観するページを設け、各地方を主体的に追究するために必要な、自然環境などの基本情報をとらえられます（第1号）。 ●各地方で活躍する人のインタビューを取り上げ、社会に参画する意識を高め、勤労観の基礎を養えます（第2号）。 ●地域に根ざした地場産業や伝統行事、歴史的な町並みなど、日本各地に継承されている伝統文化を多く取り上げ、自分の身近な地域にも目を向けることで、郷土を愛する心を身に付けられます（第5号）。 ●地域的特色を背景にしたアイヌ民族の文化を取り上げる「未来にアクセス」を設け、歴史的背景も併せて理解することで、多文化共生の重要性を意識でき、多様性を尊重する態度を養えます（第3号）。 	184-187ページなど 189、204ページなど 191、248-251ページなど 267ページ
第3編第4章 持続可能な地域の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な地域の将来像について話し合ったり発表し合ったりする対話的な場面を充実させることで、他者を尊重し、協力する態度や、より良い地域づくりに主体的、協働的に参画する意識や態度を養えます（第2号・第3号）。 	269-279ページ

3

上記の記載事項以外に特に意を用いた特色

全ての生徒が使いやすい紙面への配慮

特別支援教育への配慮やユニバーサルデザインの取り組み

学校教育を取り巻く諸課題への取り組み

より良い指導や学びをサポートする

<div>紙面の読み取りやすさの向上</div> <ul style="list-style-type: none"> ●資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させました。 ●ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用することで、文字の視認性を向上させました。 	<div>色覚特性への配慮</div> <ul style="list-style-type: none"> ●グラフや地図などでは、色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用しました。また、文字に縁取りをしたり、凡例を使用しないで図中に直接示すようにしたり、グラフでは読み取りづらい破線や点線を減らしたりしました。 	<div>指導しやすさ・学びやすさの確保</div> <ul style="list-style-type: none"> ●様々な教科の教科書を持ち歩く生徒の負担に配慮して、過度な重量にならないように、ページ数を抑え、軽くて裏写りせず、強度の高い紙を使用しました。 ●必要な学習内容をしっかりと確保しながら、単元や1単位時間の紙面の構造を明確化することで、先生方の教材研究や授業準備の時間を短縮できます。 	<div>環境に優しい素材を使用</div> <ul style="list-style-type: none"> ●再生紙・植物油インキを使用しています。 ●用紙には、強度と発色性を兼ね備えた質の高い再生紙を使用して環境に配慮するとともに、文字や図表、写真などの資料が読みやすく、色映えるように工夫しています。
---	---	---	--

5

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受 理 番 号	学 校	教 科	種 目	学 年
105 - 3	中 学 校	社 会	社会（地理的分野）	第 1 ・ 2 学 年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		

1 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領への対応

1 魅力的な写真や資料で、世界と日本の姿をとらえる

世界や日本の様々な地域の写真を豊富に掲載することで、生徒の学習意欲を高め、地理の視点から課題に向き合えるようにしました。導入クリップなど、二次元コードからアクセスできるコンテンツも充実させています。

[illegible]

▼巻頭 1-巻頭 2 ページ

[illegible]

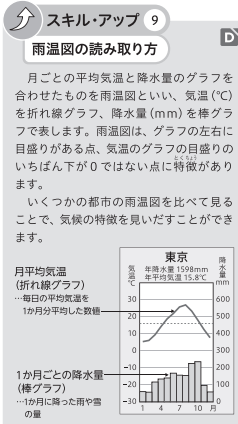
2 地理学習に必要な知識・技能を確実に身に付ける

- 中学校社会科で習得すべき知識や概念を過不足なく盛り込みました。特に生徒がつまずきやすい事項は「もっと解説」で補足説明し、知識を確実に定着できるようにしました。
- 写真・雨温図・統計地図・グラフなどの資料の読み取りや、地域の調査や分析の手法などの地理学習の基礎的な技能を確実に身に付けられるようにしました。

スキル・アップ

雨温図の読み取り方など、地理の学習に必要な基礎的・基本的な技能を身に付けられるコーナーを設けました。二次元コードから解説動画を見たり、シミュレーションで練習したりすることもできます。

▶37 ページ



もっと解説・社会科用語マスター

難しい用語を解説するコーナーとともに、QRコンテンツに「社会科用語マスター」を用意し、生徒一人ひとりが社会科のことばを使って考えられるようにしました。

▼107 ページ

もっと解説 貿易の自由化・自由貿易協定

輸入した品物にかけられる税(関税)や輸入量の制限をやめるなどして、貿易を活発にするために制度を変えることを**貿易の自由化**といいます。貿易の自由化のために、特定の国間で取り決めたものが**自由貿易協定**です。

地理を学ぶ5つのミカタ

地理学習で大切な視点を「位置や分布」「人と自然のかかわり」「場所」「結び付き」「地域」の五つで示し、地理的な見方・考え方を働かせた学習が無理なくできるようにしました。



◀6 ページ

資料から発見!

資料を読み取り、考える力を段階的に養う特設ページを設けました。資料を比較したり、結び付けたりすることで、地理の学習をより深められます。

▼78 ページ



〇〇の視点で見てみよう

「日本の諸地域」の導入では、日本の七地方について、地域の特色をとらえる視点から課題を立てて探究的に学習できるように構成しました。

▼199 ページ



3 現代的な諸課題を解決するための意識と態度を育てる

- 社会科の3年間の学習を貫く、「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つのテーマで、様々な課題や克服のための取り組みを扱い、現代的な諸課題の解決のための意識と態度を育てられます。
- 持続可能な社会の実現を考えるヒントとなるコラム「未来にアクセス」を新設し、課題解決のための様々な取り組みを取り上げています。地理学習のまとめとなる「持続可能な地域の在り方」につなげることができます。
- 日本の領域について学習する单元では、我が国が抱える領土をめぐる問題やその背景を取り上げ、問題を正しく理解し、国際平和のために解決すべき課題であることを意識できます。

▶85 ページ



観点別特色一覧

検討の観点		内容の特色	該当箇所
内容の程度・分量	指導計画作成上の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●本文は見開き2ページで1単位時間を原則にしています。 ●目次、索引、巻末資料などを除いたページ数は272ページで、標準授業時数115単位時間のうち、5単位時間の予備時間を設け、柔軟な指導計画の作成が可能です。 	全体
	適正な内容・文量	<ul style="list-style-type: none"> ●授業時数は、地理学習の導入に1単位時間、第1編1章に7単位時間、2章に6時間、第2編1章に11単位時間、2章に29単位時間、第3編1章に5単位時間、2章に12単位時間、3章に35単位時間、4章に5単位時間を配当し、また、それぞれに単元の導入の活動とまとめの活動の時間を充当しており、適切な配当といえます（本紙5ページの「対照表」参照）。 	全体
地理的分野の目標と内容	我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ●世界の諸地域学習の導入では、共通する六つの視点で州を概観するコーナー「世界の窓」を、日本の諸地域学習の導入では「〇〇の視点で見てみよう」をそれぞれ設け、「地理的な見方・考え方」を働かせながら、地域的特色を概観し、探究的に地誌学習に取り組めるよう工夫しました。 ●世界や日本の諸地域学習の各州や各地方の導入に、現地に暮らす中学生が生活の様子や地域の特色などを紹介するコラム「聞かせて！中学生」を設け、地域による違いや生活の工夫などに関心を高め、異文化理解や国土理解を深めるようにしました。 	61、79、93、 105、119、131、 187、199ページなど 60、78、92、104、 184、196、208、220 ページなど
	基礎的・基本的な知識・概念や技能を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> ●見開き1単位時間の紙面を、「興味・関心を引き出す『導入資料』→1時間を貫く問いである『学習課題』→丁寧に分かりやすい『本文』→1時間の学習課題を解決する『チェック＆トライ』」の流れで構造化し、学習内容を確実に定着できるようにしました。 ●本文中の難しい用語を解説する「もっと解説」を本文ページの随所に配置し、単元のまとめには用語の確認をする「ワードチェック」を設け、確実な理解を促すようにしました。また、QRコンテンツでは、社会科で学習する重要用語が確認できる「社会科用語マスター」を用意しています。 ●写真・雨温図・統計地図・グラフといった資料の読み取りや、地域の調査や分析の手法などの地理学習の基礎的な技能を系統的に習得する「スキル・アップ」とともに、身に付けた技能を活用するコーナーを設け、確実に定着できるようにしました。 	112-113ページなど 95、107ページなど 34、50、53、168、 279ページなど
	「地理的な見方・考え方」を働かせるなどして、思考力・判断力・表現力を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ●巻頭に「地理を学ぶ5つのミカタ」を設けて地理学習に重要な視点の例を丁寧に示し、全編を通して「地理的な見方・考え方」を意識して学習できるようにしました。 ●1単位時間の学習内容をまとめる「チェック＆トライ」を設け、着実に思考力・判断力・表現力を高められるようにしました。 ●各章の終結部には「ベン図」「ウェビング」といった、多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしました。 ●小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーを適宜設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしました。 	6ページ 10-11ページなど 33、127、267ページ など 30、35ページなど
	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ●「インタビューコラム」を随所に設け、実際に社会に参画している人々の生き生きとした姿から、自らの生き方やキャリア形成について考えられるようにし、生徒の勤労観を養えるようにしました。 ●第3編第4章では、「持続可能な地域の在り方」について、具体的な調査活動や提案活動を取り上げ、社会参画に向けた主体的な態度を養えるようにしました。 	99、189、217、227、 241、251、263ページ 269-279ページ
構成・配列	小・中・高の系統性	<ul style="list-style-type: none"> ●各単元の導入部に、小学校社会科で学習した内容を用語や写真でふり返るページを設けるとともに、QRコンテンツでは既習事項をふり返るなど、単元の学習をイメージしやすい動画を用意し、小・中の学習を円滑に接続できるようにしました。 ●「スキル・アップ」でGIS（地理情報システム）を取り上げ、高等学校の必修科目「地理総合」につながる学習ができるようにしました。 	8ページなど 154ページ
	三分野の関連	<ul style="list-style-type: none"> ●3年間の社会科学学習を貫く五つのテーマ（「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」）について、三分野共通の題材や、分野をまたがる共通の資料を扱い、分野関連を示すリンクマーク㊦を付すことで、多面的・多角的な学習ができます。 	58-59ページなど
	他教科との関連	<ul style="list-style-type: none"> ●国語、書写、数学など他教科でも扱う学習内容には、教科関連を示すリンクマーク㊦を付し、教科を横断した学習の確認ができます。 	25、153、162、164、 165ページなど
	QR コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> ●導入→展開→まとめという単元の学習の流れの中で活用できるよう、日々の授業や家庭学習で使えるコンテンツを用意しました。 ●導入のページでは、小学校の学習をふり返るクリップなど、単元の学習をイメージしやすいコンテンツを用意しました。 ●展開のページでは、学習内容の理解を深める動画や、活動のためのワークシート、生徒のつまづきを補うシミュレーションなどのコンテンツを用意しています。また、コンテンツを活用しながら学習を進められるよう、二次元コードを学習課題の隣に置きました。 ●まとめのページでは、思考の整理に役立つ思考ツールや学習した内容を確認するクイズなどを用意しました。 	全体 35、62、156、184 ページなど 37、45、46、227 ページなど 33、54、126-127、 266-267ページなど

検討の観点		内容の特色	該当箇所
今日的な課題への対応	持続可能な開発目標 (SDGs)	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識しながら学習を進められるようにしました。 ●持続可能な社会の形成について、第2編2章「SDGsから「地球的課題」を考えよう」、第3編4章「持続可能な地域の在り方」などで取り上げ、現代的な諸課題を理解し、課題を解決しようとする態度を養えるようにしました。 	巻頭3-1、58-59、141、142-143ページなど 58-59、75、89、101、142-143、269-279ページなど
	環境・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ●世界の様々な環境問題や、再生可能エネルギーも含めた発電方法の特徴と課題を取り上げた「もっと知りたい!」と「未来にアクセス」を設け、地球的課題である環境問題や日本が抱えるエネルギー問題への意識を高め、課題への理解を促すようにしました。 	65、70-71、84-85、125、172-173、182ページなど
	人権・平和	<ul style="list-style-type: none"> ●世界の様々な宗教や文化を取り上げています。イスラムの暮らしを丁寧に取上げた「もっと知りたい!」では、イスラームの地域による多様性などにも触れることで、偏見に陥ることなく宗教への理解を深めるとともに、人権や国際平和への意識を高められるようにしました。 ●多国籍の人々が暮らす町の取り組みを取り上げた「未来にアクセス」を設け、多文化共生に向けた視点を身に付け、将来の共生社会を考える意識を高められるようにしました。 	52-53、77、137ページなど 243ページ
	伝統・文化	<ul style="list-style-type: none"> ●地域的特色を背景とした各地の伝統産業や伝統文化、歴史的町並みなどを本文やコラム「もっと知りたい!」などで豊富に取り上げ、それらが形成された歴史的背景や現代の生活に対応した革新の努力にも触れることで、国土や郷土への理解や愛情を深められるようにしました。 	216-217、219、229、250-251ページなど
	防災・安全	<ul style="list-style-type: none"> ●日本で見られる地震や火山、気象による様々な自然災害を地理的要因とともに取り上げ、開発と自然環境との関係を考察しながら災害に向き合えるようにしました。また、高等学校「地理総合」での防災の学習に円滑に接続できるようにしました。 	164-169、185、188-189ページなど
	情報・技術	<ul style="list-style-type: none"> ●情報通信技術 (ICT) の進展による社会の変化や課題解決の取り組みの事例を本文や「未来にアクセス」などで取り上げ、地球的課題の解決や地理的な制約の克服に最先端の情報・技術が活用されていることへの理解を深められるようにしました。 	71、73、111、177、204-205ページなど
	先生がたの働き方改革への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ●1見開きあたり1単位時間を基本とし、時間配当や年間指導計画を把握しやすい構成にしています。 ●単元における「導入の活動」と「まとめの活動」に一体感をもたせるとともに、配当時間を設け、単元構想が立てやすくなるようにしました。 ●紙面上で、活動場面に「見方・考え方」を働かせる視点の例を分かりやすく提示しました。 	全体 8-9、20-21、32-33、34-35ページなど 14、43、73、84ページなど
	インクルーシブ教育を目指して	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育の観点から、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、学習者が学習に必要な情報に集中できるようにしました。 ●資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させています。 ●教科書全体を通してユニバーサルデザインフォント (UDフォント) を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させています。 ●色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフや地図などでは、凡例を使用せずに図中に直接示すようにしたり、読み取りづらい破線や点線を極力減らしたりしました。 ●小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体のふりがなを採用し、視認性を確保しながら黒色を抑えることで、紙面の雑然とした印象を軽減し、読み取りやすさを向上させています。 ●別途発行予定の学習者用デジタル教科書では、文字の大きさ変更 (リフロー表示)、本文の読み上げ (機械音声)、文字色・背景色・行間の変更や、ふりがな表示、分かち書き表示に対応し、全ての子どもの学習を支えます。 	全体
	令和の日本型学校教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●紙面に付した二次元コードを機器で読み取ることで、内容の理解につながる動画やシミュレーションなど、豊富なコンテンツを利用することができるため、学校でも家庭でも学習者個人に合わせた学習を調整することができます。 ●学習者用デジタル教科書では、画面に表示される紙面上の二次元コードをクリックするだけの操作で、簡単にQRコンテンツにアクセスすることができます。 	全体

観点別特色一覧

検討の観点		内容の特色	該当箇所
印刷・造本	表記・表現	●視覚的効果が高い幅広の判型（AB判）を用い、資料を豊富に掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成になっています。	全体
	製本・印刷	●印刷用のインキは、環境に配慮した植物油インキを使用しています。 ●強力な接着剤を用いた製本は堅牢で、長期間の使用にも十分耐えられます。	全体
	用紙・紙質	●様々な教科の教科書を持ち歩く生徒の負担に配慮して、過度な重量にならないように、ページ数を抑え、軽くて裏写りせず、強度の高い紙を使用しました。 ●用紙には、強度と発色性とを兼ね備えた質の高い再生紙を使用して環境に配慮するとともに、文字や図表、写真などの資料が読みやすく、色映えするように工夫しています。	全体

2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時間
第1編 世界と日本の地域構成	A-(1)	8-33ページ	13
第1章 世界の姿	A-(1)①	8-21ページ	7〇
第2章 日本の姿	A-(1)②	22-33ページ	6〇
第2編 世界のさまざまな地域	B-(1)(2)	34-143ページ	40
第1章 人々の生活と環境	B-(1)	34-57ページ	11〇
第2章 世界の諸地域	B-(2)	58-143ページ	29
1節 アジア州	B-(2)①	60-77ページ	(7)〇
2節 ヨーロッパ州	B-(2)②	78-91ページ	(5)〇
3節 アフリカ州	B-(2)③	92-103ページ	(4)〇
4節 北アメリカ州	B-(2)④	104-117ページ	(5)〇
5節 南アメリカ州	B-(2)⑤	118-129ページ	(4)〇
6節 オセアニア州	B-(2)⑥	130-141ページ	(4)〇
第3編 日本のさまざまな地域	C-(1)(2)(3)(4)	144-279ページ	57
第1章 地域調査の手法	C-(1)	144-155ページ	5
第2章 日本の地域的特色	C-(2)	156-182ページ	12〇
第3章 日本の諸地域	C-(3)	183-268ページ	35
1節 九州地方	C-(3)①	184-195ページ	(5)〇
2節 中国・四国地方	C-(3)④	196-207ページ	(5)〇
3節 近畿地方	C-(3)②	208-219ページ	(5)〇
4節 中部地方	C-(3)③	220-231ページ	(5)〇
5節 関東地方	C-(3)④	232-243ページ	(5)〇
6節 東北地方	C-(3)⑤	244-255ページ	(5)〇
7節 北海道地方	C-(3)①	256-268ページ	(5)〇
第4章 持続可能な地域の在り方	C-(4)	269-279ページ	5
※予備時間は、生徒の自主的な学習活動の時間や評価などに充てる時間です。 ※配当時数に「〇」がある単元の時数には、単元の「導入の活動」(1時間)や「まとめの活動」(1時間)も含まれます。		予備時間	5
		合計	115